



**Park-PFI代官山公園  
官民連携型賑わい拠点創出事業  
～認定公募設置等計画の変更内容について～**

むつ市都市整備部 都市計画課  
2021年9月

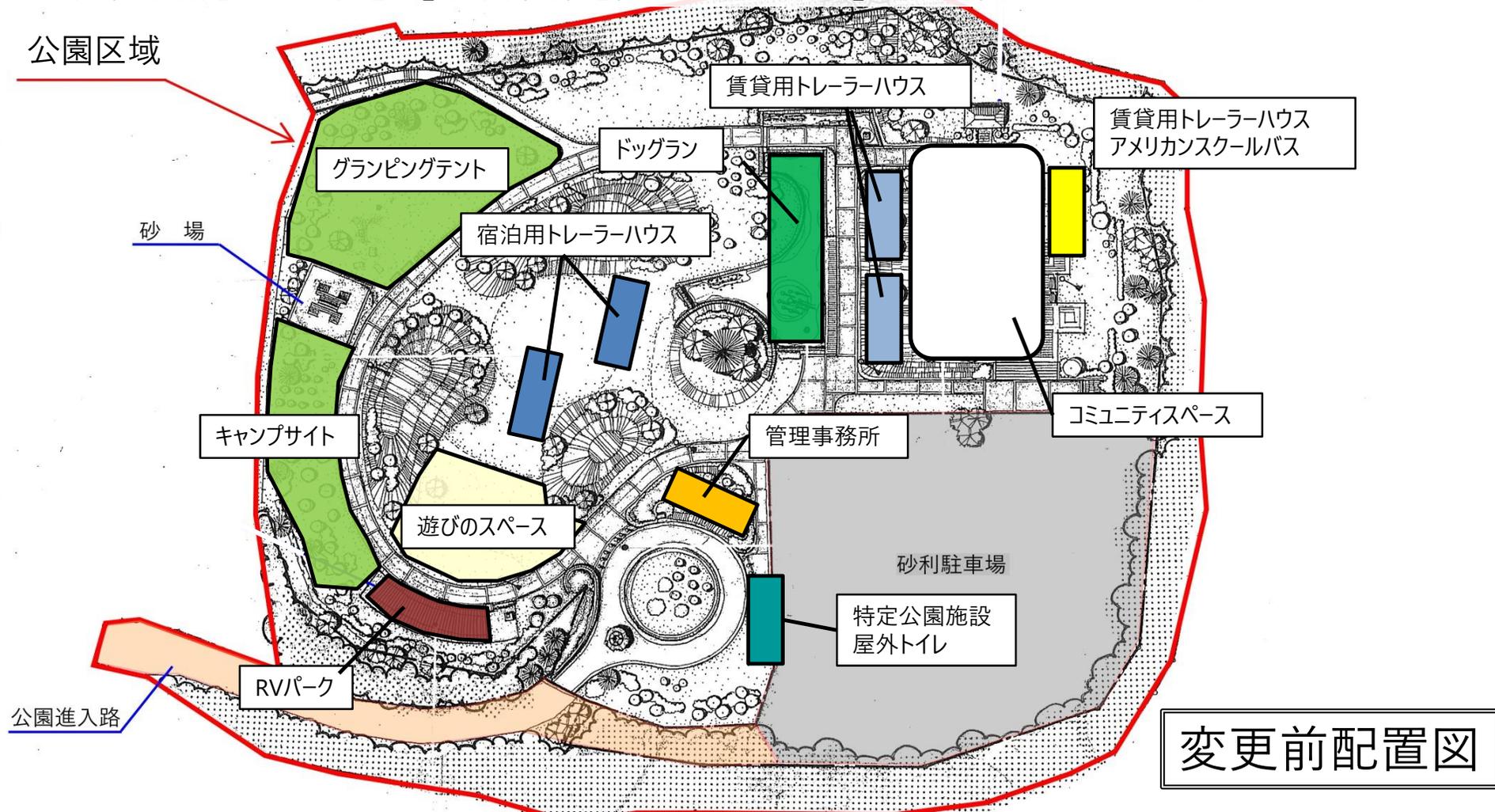


# 認定公募設置等計画の変更内容

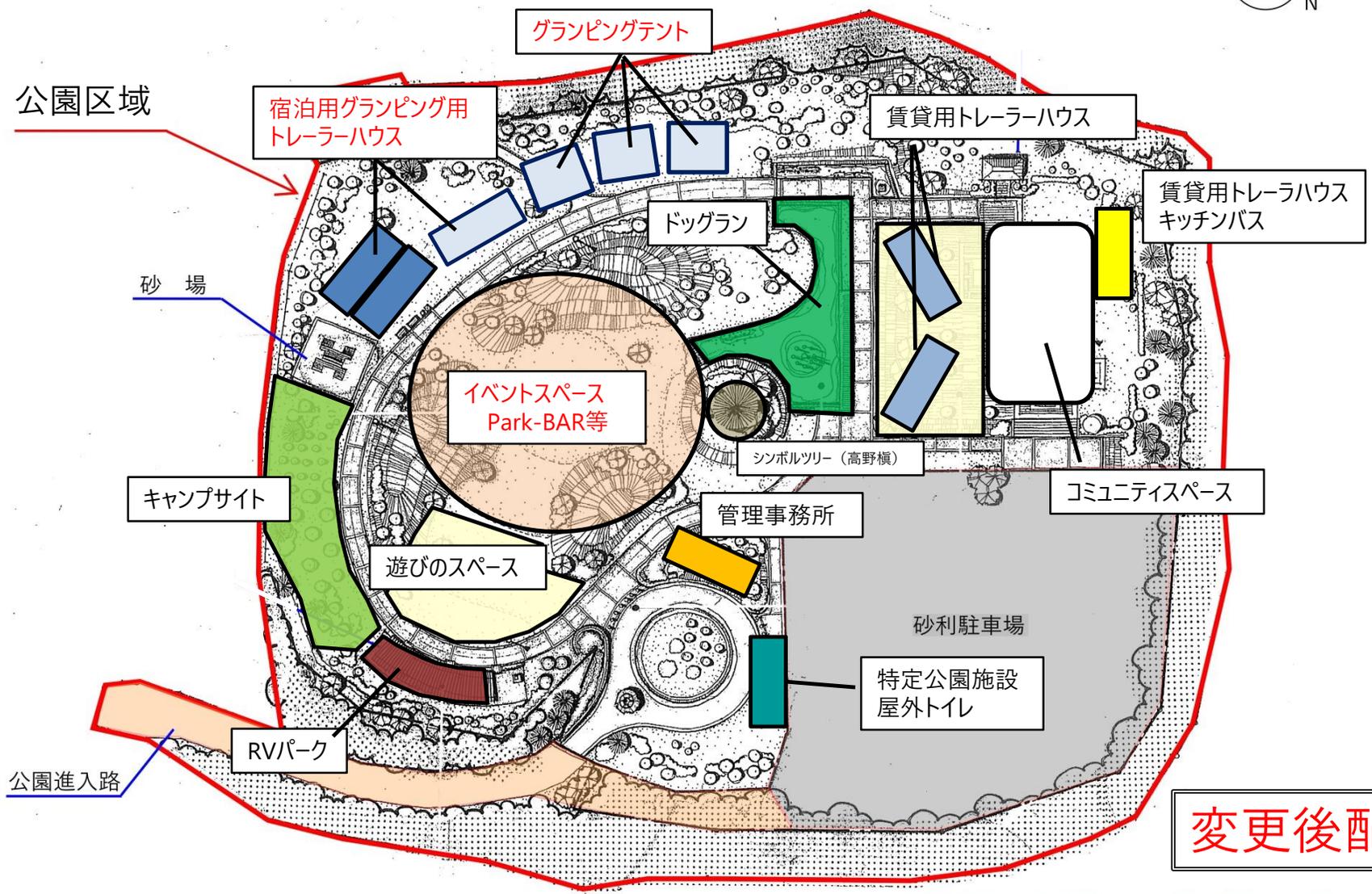
## 変更前の配置図

## 事業コンセプト

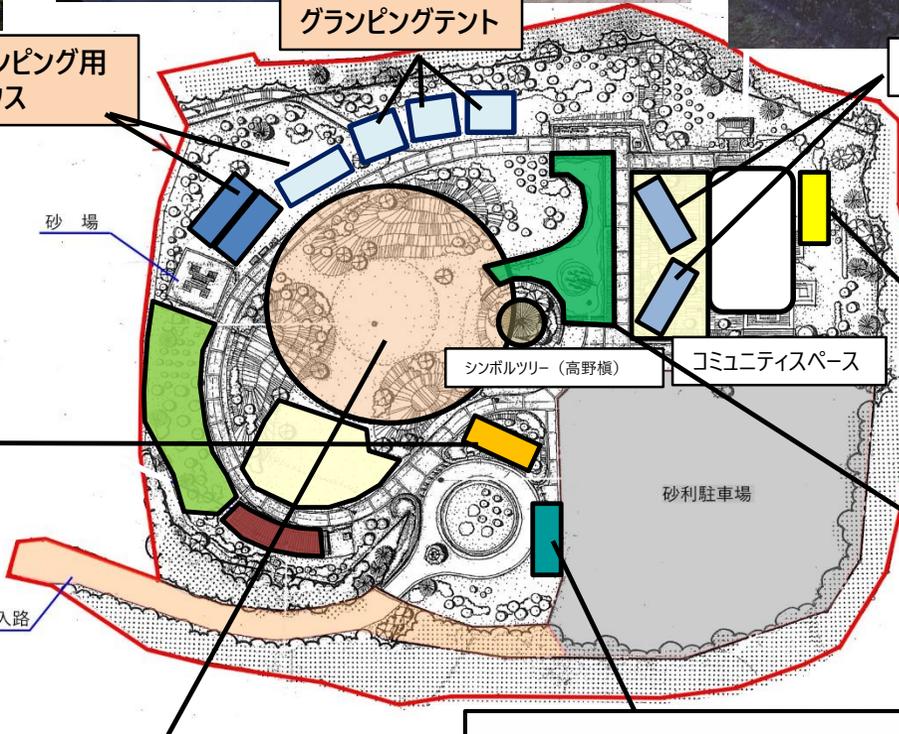
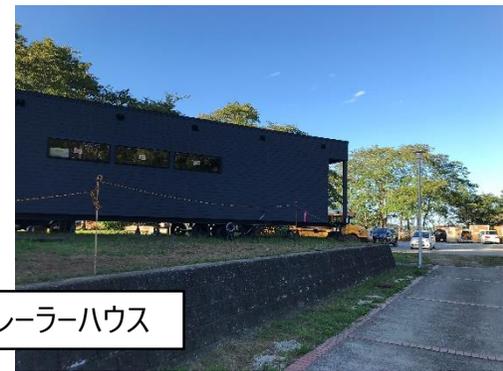
代官山公園の植栽やイメージに合わせた配色のトレーラーハウスを設置し景観形成を図り、恐山街道へのアクセスの良さを活かした「下北半島観光のスタート地点」と「田名部地区のにぎわい空間」として整備



※認定公募設置等計画では整備内容について、市が実施する公園の基礎整備との調整及び各種調査・協議により変更できることとしている。



変更後配置図



宿泊用グランピング用  
トレーラーハウス

グランピングテント

賃貸用トレーラーハウス

管理事務所

シンボルツリー (高野横)

コミュニティスペース

賃貸用トレーラーハウス  
キッチンバス

ドッグラン

イベントスペース  
Park-BAR等

特定公園施設  
屋外トイレ

県内初の公園施設

オープン後のイメージ



【事業ロゴイメージについて】

認定事業者のむつ不動産が考えたこの事業ロゴは、これまでの代官山公園としての歴史やイメージを大切にしながら、新しい公園での賑わいや楽しさを創り出していくことを表現している。

①中央部に配置された代官山公園のシンボルツリー高野槇

②Park-BARやグランピングをイメージしたテント

③Park-DAIKANYAMAの楽しさと人をつなげるトレーラーハウス

※市としても公園への案内サインや看板に活用する予定としている。



# 景観形成について

代官山公園のイメージをアースカラー（自然色）で表現しつつ、公園との調和や新しくなる公園での賑わいや楽しさをおもちゃ箱のように様々な色調を活用して表現。  
それぞれ異なるトレーラーハウスを設置することにより、個性ある公園・地域づくりを目指すことを意識しながら、既存の自然景観に調和するカラーを選定。



グランピングトレーラーハウス

カラー：黒・木目色

これまでの公園の落ち着いた雰囲気表現しつつ、夜間には、ライトアップにより、シックな雰囲気と穏やかなくつろぎ空間を生み出すカラーを採用



宿泊用トレーラーハウス

カラー：水色・白

代官山公園から見える青空や白い雲をつなぐ施設として、自然と風の涼やかさをイメージしたカラーを採用





特定公園施設（屋外トイレ）

カラー：アイボリー・木目色

駐車場に来た公園利用者が最初に目に入る施設であり、明るく・優しい配色を取り入れ、公園での四季との調和を図りながら、柔らかい印象を与えることで配色を選定。



公園管理事務所

カラー：ブラウン・木目色

公園の植栽色とも馴染みながら、公園利用者を見守り、寄り添いながら、他の施設を引き立たせるような配色を選定。



飲食店トレーラー（キッチンバス）

カラー：ビタミンカラー  
公園での賑わいや楽しさを明るい配色で表現。  
キッチンバスの周りを遊び回る子どもたちや公園  
利用者の笑顔も含めてビタミンカラーを取り入れ、  
これからの新しい代官山公園での活気や楽しさを  
表現



飲食店トレーラー

カラー：各店舗のイメージ色・木目色  
施設は落ち着きのある配色を選定し、飲食トレーラー  
の個性を出しながら、オープンテラスデッキから見えるシ  
ンボルツリーの高野槇等の植栽との調和を図る。



ドッグランor各施設デッキスペース

柵や屋外デッキは、グランピングサイトとしての公園イメージと植栽の緑との一体性が図れる配色を採用